

「容器包装プラスチック」の

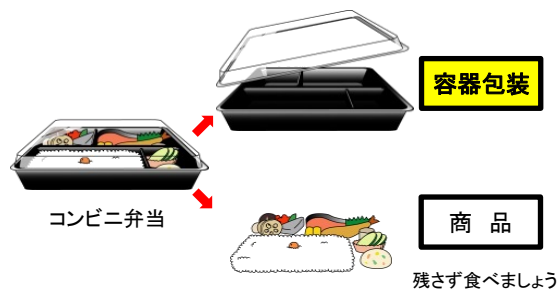
“容器包装”って何でしょう？

“容器包装”とは、商品を販売する際にその商品を入れているもの(容器)や包んでいるもの(包装)で、いわゆるパッケージといわれるものです。

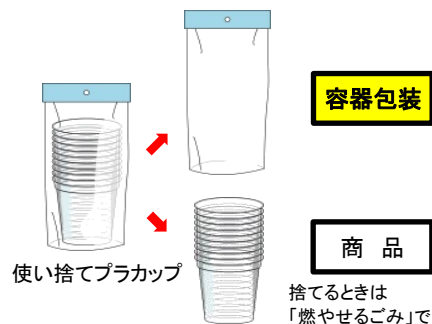
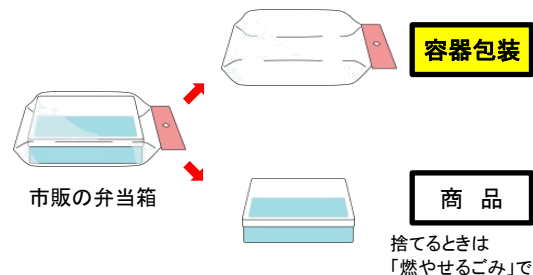
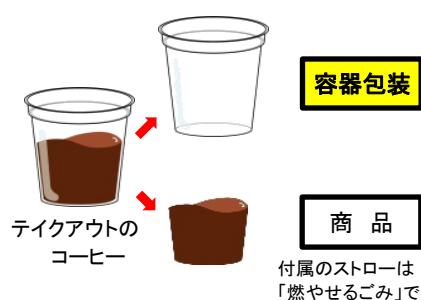
「容器包装プラスチック」で出せるのは、プラスチックごみ全般ではなく、容器包装に使われていたプラスチックのみです。

用途によって“容器包装”かそうでないかが変わってきます。

●同じ弁当を入れるプラ容器でも



●同じ使い捨てプラカップでも



なぜ“容器包装”プラスチックだけなの？

家庭から出るごみの多くを占める「容器包装プラスチック」は、法律により製造・販売する業者に再資源化の義務が課せられました。これによりリサイクルするためのシステムが確立されています。それ以外のプラスチックは、リサイクルシステムが確立されていないのが現状です。

容器包装プラスチックには、このマークが付いています ➡



ごみ収集車の火災事故が発生しています！



中身の残っているライター、カセットボンベ、スプレー缶などから漏れたガスに引火したものと思われます。

中身の残っているライター、カセットボンベ、スプレー缶のごみ出しは、禁止されています！！

ルールを守って正しくごみ出ししてください。

ライター・カセットボンベ・スプレー缶 の出し方

- 1 中身の有無を確認し、残っている場合は使い切る
- 2 使い切れない場合は、火気のない風通しのよい屋外でガスを抜く
カセットボンベの場合は、キャップを外し、先端を下にして、先端部をコンクリートなどに押し付けてください。ガスが出なくなった後、振って音がしなければガスが抜けて空になっています。
ライターの場合は、輪ゴムや粘着テープでレバーを押し下げたまま固定し、半日か1日置いてください。
スプレー缶の場合、平成19年4月からガスを簡単に抜くための装置（中身排出機構）が付いて販売されています。商品の説明を確認してください。
- 3 カセットボンベ・スプレー缶は、中身がないことを確認した後、穴をあける
穴あけは、収集員が中にガスなどが残っていないことを確認しやすいようお願いしているものです。ガスを抜くための穴あけではありません。
必ず中身がなくなったことを確認した後に穴をあけてください。
- 4 「燃やせないごみ」の日にごみステーションに出す